

## SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	大村 齋人	学校名	豊田市立上郷中学校
実施学年	3年	教科	道徳科
単元名	自分・相手・周りの人(公共の場での心構え)		

### 《学びを深めたいポイント》

本時では、公共の場での心構えを理解し、一人ひとりが協力して、誰もが安心して生活できる社会をつくっていかうとする実践意欲を育てる。

そのために、ICT を活用し、生徒が短時間で多くの生徒の考えに目を通し、自分の考えと比較する時間を確保する。

また、振り返りの場面で、生徒による相互評価の時間を確保して自分の考えを深める時間を確保する。

### 《SKYMENU 活用のポイント》

- ・電子連絡板を活用し、授業の流れを視覚的に確認できるようにする。
- ・SKYMENU と Forms を連携して使用することで、効率的に意見を集約する。
- ・授業展開の目的に応じて、グループワークに参加する人数を工夫する。

### 《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	1 本時のキーワードについて考える。 (発問) 「「自分・相手・周りの人」と聞いてどんなことを思い浮かべるか？」	【*1】 ・電子連絡板で授業の流れを提示する。	Forms ・テキスト集約
展 開	2 デジタル教科書による範読を聞く。  3 自分で考える。 (発問) 「マタニティマークを「知っているが、つけたことがない」人は、なぜつけないのだろう？」  4 問題について考え、議論する。 (発問) 「マタニティマークが受け入れられる社会をめざすにはどんな考え方が大切だろう？」	【*2】 電子連絡板のリンクをクリックして、アンケートフォームに自分の考えを入力する。  【*4-①】 ・発表ノートを配付し、自分の考えを記述する。その後、小グループでのグループワークを行い、	【*3】 ・生徒に、回答状況を閲覧させることで、効率的に全員の意見の傾向をつかませて、自分の考えと比較する時間を確保する。

		それをもとに話し合い、考えを深める。。	
まとめ	5 「自分に+1」をまとめる。 よりよい社会を築くためには、どんなことを考えていけばよいだろうか？	【*4-②】 ・まとめ用の発表ノートを配付し自分の考えをまとめた後、全員でグループワークを行い、相互評価を行う。	

### 【\*1】電子連絡板

#### 道徳科 自分・相手・周りの人 ～公共の場での心構え～

##### 1 キーワード[自分・相手・周りの人]について考える。

[\[自分・相手・周りの人\]と聞いてどんなことを思い浮かべますか？](#)

[みんなの考えを見てみよう。](#)

##### 2 自分で考える。

[マタニティマークを\[知っているが、つけたことがない\]人は、なぜつけないのだろうか？](#)

[みんなの考えを見てみよう。](#)

##### 3 問題について考え、議論する。

マタニティマークが受け入れられる社会をめざすには、どんな考え方が大切だろうか？

##### 4 [自分に+1]をまとめる。

よりよい社会を築くためには、どんなことを考えていけばよいだろうか？

- ・Forms と連携し、青文字部分をクリックするとアンケートフォームが開くように設定した。
- ・「みんなの考えを見てみよう」をクリックすることで、回答状況を確認できるよう設定した。

### 【\*2】アンケートフォーム

## 自分で考えよう

1. マタニティマークを「知っているが、つけたことがない」人は、なぜつけないのだろうか？

回答を入力してください

送信

### 【\*3】回答状況の閲覧画面



#### 自分で考えよう

48  
応答

17回答者 (44%) この質問に 嫌回答しました。

結果の表示

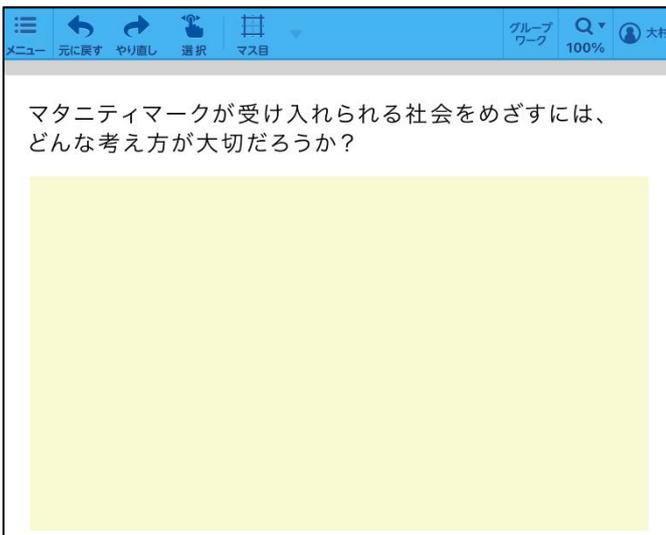
1. マタニティマークを「知っ

詳細 インサイト

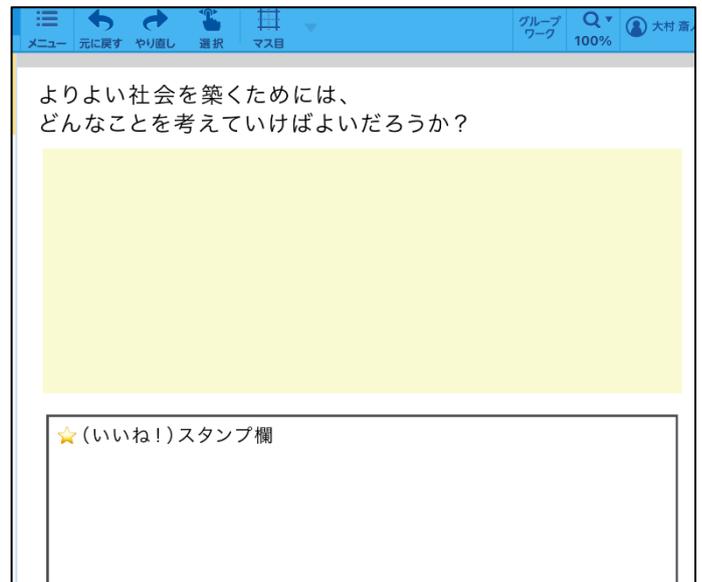
質問にピン留めする 詳細を非表示にする

- ・生徒の回答で多く用いられたキーワードが強調されるので、全員の考えの傾向を把握しやすい。
- ・キーワードをクリックすることで、そのワードを用いた回答を閲覧することができるので、生徒一人一人が気になった回答をすばやく閲覧することができる。

### 【\*4-①】



### 【\*4-②】



- ・【\*4-②】の下段は相互評価の場面で使用する枠。考えを入力後、全員でグループワークを行い、互いの考えを読み、読んだ生徒が「いいね!」と感じたときには、スタンプを押すこととした。

#### 《実践を振り返って》

- ・授業の見通しを提示することで、授業の展開に応じて生徒が何をしたらよいのか把握しやすくなったため、話し合いなどに深まりが生まれた。
- ・SKYMENU を使用しなかった授業展開と比べ、生徒が多くの考えに触れることができ、自分の考えを再構築したり、さらに深まりのあるものを書き換えたりすることができた生徒が多かった。